



# 学校だより 1月号

～和・希望・自立～

令和5年1月10日  
福岡県立久留米聴覚特別支援学校

## ～早春の息吹を感じて・・・飛躍の時～

校長 <sup>いけぞえ</sup>池添 <sup>まさかず</sup>昌和

新年を迎えました。今年のお正月は天気にも恵まれ皆様も穏やかな三が日を過ごすことができたのではないのでしょうか。昨年後半から新型コロナウイルス感染者数は相変わらず増加傾向にあるものの行動制限等もなく、久しぶりにご親戚やお知り合いの方ともお会いできたのではないかと思います。今年が皆様にとって実り多い素晴らしい一年になることを心より祈念しております。

さて、この3学期は、1年の集大成の学期であり、子どもたちが頑張りを見せてくれる楽しみな学期でもあります。特に幼稚部らいおん組、小学部6年生、中学部3年生の子どもたちにとっては、卒業を迎える大切な学期です。私は、これまでの教師生活の中でこの数か月間に最も生徒が成長していくのを見てきました。早春の息吹がそうさせるのかもしれないと密かに思っています。

学校としては、保護者の皆様のご理解とご支援を賜りながら子どもたちの成長を後押ししたいと思います。今年もどうぞよろしく願います。



## ～2022市民のつどい「人権作文朗読」「人権標語紹介」～

12月10日(土)久留米シティプラザにて、本校中学部1年生の緒方日菜さんが約150名の市民の前に「障害は私の個性」と題した作文を発表しました。

内容は自分の障がいと家族との関わり、聴覚障がいへの理解を社会に強く訴えるものでした。発表後、会場からたくさんの拍手をいただき、涙する人も多くいました。今回の発表が聴覚障がい者への理解につながる大変良い機会になったと思います。

また、中学部2年生の鷹尾みれいさんの「今日も生きられた 明日も生きたい 生きられただけ



